

# 札幌皮膚病理研究所 NEW



2003年8月号

## 今月の症例

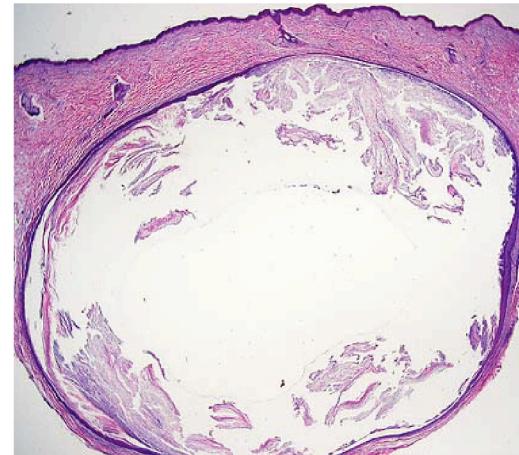


Follicular cyst, infundibular type

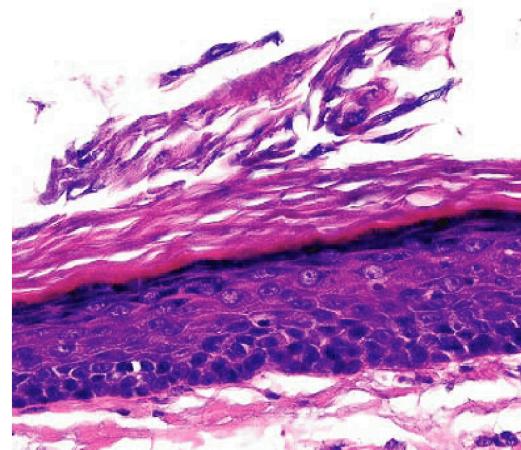
45才、男性 左耳介後部

臨床診断 : Atheroma

病理組織診断 : follicular cyst, infundibular type



真皮内に角化性の囊腫がある



囊腫壁には基底細胞、有棘細胞、顆粒細胞、そして色素細胞があり層状の角層を持つ。表皮あるいは毛包漏斗部の上皮に類似する。囊腫壁に連続する皮膚付属器はない。

## 開催セミナーのご案内



### 皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座

手術切除されることの多い良性と悪性の皮膚腫瘍の病理組織所見を中心に解説し、手術方法や切除範囲を考えるための情報を提供します。

札幌会場 2003年 8月10日（日）

東京会場 2003年10月 5日（日）

大阪会場 2003年11月16日（日）

福岡会場 2003年11月30日（日）

時間 10時より16時まで

### 第11回札幌皮膚病理セミナー

～Melanocytic lesion-色素細胞性病変のすべて～

日時 2003年9月6（土）、7日（日）

### 悪性リンパ腫診断マニュアル 販売中

皮膚B細胞リンパ腫の病理診断(2003.1.18)で使用されたハンドアウトを販売しております。

1部 2,270円（送料込み）

### ◆ お知らせ ◆

電子カルテなどにお役立ていただけるよう、病理報告書に添付している標本写真をデジタル画像でお送りすることもできます。ご希望の方は当研究所までお知らせください。

～各種お申込・お問い合わせは当研究所まで～

札幌皮膚病理研究所  
〒001-0018

札幌市北区北18条西3丁目21-793  
TEL 011-756-4810 FAX 011-756-4842  
E-mail office@sapporo-dermpath.com  
Website www.sapporo-dermpath.com

## ご挨拶

このたび、札幌皮膚病理研究所では、皮膚疾患の病理検査に関する役立つ情報を始め、日常診療に役立つ様々な企画を皆様にご紹介すべく、ニュースを発刊いたすことといたしました。初めての試みなので内容については不十分かと思いますが、今後より充実させていきたいと存じますので、ご愛読、ご意見を賜りますようお願ひいたします。

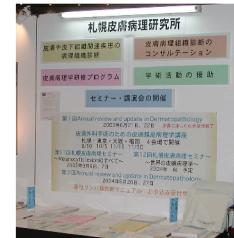
このニュースが皆様との交流や皆様への情報提供の場としてご活用いただけることを祈念いたしまして、発刊の挨拶とさせていただきます。

札幌皮膚病理研究所 所長 木村鉄宣

## What's new?

日本皮膚科学会 総会 企業展示に出展  
(5月22日~25日)

日本皮膚科学会総会で企業展示に出展いたしました。  
ブースにお立ち寄りください、  
ありがとうございました。



第1回Annual review and update in Dermatopathology開催  
(6月21、22日)

日常診療や専門医試験に必要な基本的・日常的な皮膚疾患を理解するためのセミナーを開催しました。皮膚科や病理の専門医および研修医など、多くの先生方にご参加いただきました。

阿部俊文先生皮膚病理研修終了  
(6月30日)

今年4月より皮膚病理研修のため来札されていた久留米大学の阿部俊文先生が6月末で研修を終え、久留米に戻られました。研修医日記を当研究所ホームページにて公開しております。ぜひご覧ください。



## 皮膚病理検査を最大限活用するためのアドバイス

### その① 検体の固定法

生検で採取した検体は病理組織学的検査の目的にあわせて検体を固定します。

※病理標本をつくるために組織の蛋白質を変性させて変形を抑えたり、組織の細胞活動を停止させることを固定と言います。

一般に固定液は検体の体積の約10~20倍量あれば十分です。

#### a) 10%中性緩衝ホルマリン固定

もっとも基本的な固定法です。光学顕微鏡による病理組織標本をつくるために使用します。病理診断の基本となるヘマトキシリソーエオジン染色(HE染色)や種々の特殊染色が可能です。また、最近は10%中性緩衝ホルマリンで固定した検体でも検査できる酵素抗体法の項目が増えています。さらに低温に保管してあるホルマリンや、EDTA(エチレンジアミン四酢酸)を加えた室温ホルマリンで検体を固定するとDNAやRNAの遺伝子解析が可能です。

#### b) 凍結検体

蛍光抗体法や酵素抗体法に利用します。また、光学顕微鏡で観察するズダン染色など脂肪染色にも用います。生検体を液体窒素などで凍結し、凍結した検体をミクロトームを使って切片を作ります。凍結検体を運搬するときには容器にいれた液体窒素に検体をつけておいて下さい。

#### c) メタノール固定

HE染色で痛風結節内の尿酸結晶をみるために100%メタノールで検体を固定します。また、遺伝子解析用の検体にも用いられます。

#### d) グルタルアルデヒド緩衝液固定

透過電子顕微鏡用の標本をつくるために使用します。

### ワンポイントアドバイス

- ・検体をメスやカミソリの刃で分割すると検体が損傷されることがあるので、いくつかの検査目的がある場合は、個別に検体を採取するのが望ましい。とくに水疱性疾患では水疱を破ることががあるので、できるだけ1検査に1検体を原則とする。
- ・生検で採取した検体は、乾燥や変性を避けるためすみやかに固定する。
- ・検体容器の運搬時に固定液の量が足りないと検体が固定液に浸らないことがある。検体容器の縁やふたに検体が付着して乾燥することもあり、検体容器いっぱいに固定液を入れると安全である。
- ・検体は採取後すぐに検体容器に入れ、検体を検査に提出する前に検体容器に検体が入っているのを確認するとよい。検体の紛失や取り違えを防ぐことができる。
- ・検体の確認をしやすくするため、1つの検体容器に1検体をいれる。

「Monthly Book Derma, 41:41-46, 2000 外来診療に必要な皮膚科検査マニュアル 病理組織学的検査と病理組織診断 木村鉄宣」 より一部改訂して引用

次回は その②病理組織学的検査依頼伝票の書き方 です。

## スタッフ紹介

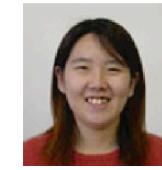
今回は当研究所スタッフをご紹介致します。



Tetsunori Kimura  
所長：木村 鉄宣  
皮膚科専門医



Keiko Sadahisa Atsuko Takano Itsumi Tozawa  
主任 定久 恵子 高野 敦子 戸澤 愛美



## 今後のスケジュール

- 2003,07,19  
特別講演；炎症性皮膚疾患～私の病理診断法  
日本病理学会東北支部  
場 所；東北大学医学部（仙台）
- 2003,07,26  
演題発表；Keratinocytic lesion or melanocytic lesion ?  
第19回日本皮膚病理組織学会  
場 所；東京 エーザイ本社
- 2003,08,10  
セミナー；皮膚外科手術のための皮膚腫瘍病理学講座  
場 所；北海道大学臨床大講堂（札幌）
- 2003,09,06~07  
セミナー；第11回札幌皮膚病理セミナー  
Melanocytic lesion（色素細胞性病変）のすべて  
場 所；札幌皮膚病理研究所
- 2003,9,20  
特別講演；皮膚腫瘍性疾患の病理組織診断  
所見の取り方と診断方法  
第2回京滋難治性皮膚疾患研究会  
場 所；京都ホテルオークラ

発刊責任者；定久 恵子